



左上：バスも乗入れできそうな背の高い葡萄棚。右上：売店全景。フルーツ公園駐車場への道から。背後には富士山がのぞいています。右下：山梨市駅からフルーツ公園へ上がる道からの様子。まずは看板を取り換えなくては...左下：売店建物全景。どんな見た目にするのか考え中です。

小さな取組みではありますが、カノハタにとっては大きな転換機だと捉えています。みなさまにじっくり見守っていただければ幸いです。
QRコードをおねがいします。



今年から(少しずつ)売店に挑戦します
令和五年もカノハタをどうぞよろしくお願い致します。
唐突ではありますが、縁あって、今年から山梨県の名所笛吹川フルーツ公園の駐車場の目の前にある、小笠原観光園さんの売店を引継がせていただくことになりました。
私たちはいつも「おいしいけどものを食べてもらいたい」ということを決めてる時に基準にしてみました。
その中で、販売に関しては直売をメインに据えています。食べる方に直接お届けすることが思いを伝える一番の方法だと考えているからです。
宅配や、さらにここ数年はケーキ屋さんの店先などをお借りして出張販売もしています。そして、直売所はもっとも取組みしたいことのひとつでもあります。
産地に来て感じ、生産物を直接見て購入していただける。シャインマスカットはもちろん美味しいですが、他にも美味しい葡萄はたくさんあります。そんなことも知っていただけの場所になればと思います。生果が販売のメインとなるため、八・九月の週末を中心にお店を開けると思います。
どのような形で運営していくか。効率化のために品種の集約を進めてきた現状の畑で販売できるものがどれだけあるのか。課題は多々あり、すぐに形を整えることはできないかもしれませんが、ひとつずつクリアしていきたいと思っています。イン스타그램で随時報告したいと思っておりますので、ぜひフォロー(裏表紙QRコード)をおねがいします。

いろいろなところで直売しました

昨年はカノハタとご縁のある県外の各所で出張販売をやらせていただきました。もう足掛け5年になるラトリエドシュクルさん。シェフの奇抜なアイデアで、園主の幼なじみのふでこさんも一緒にワークショップをするというコラボイベントも開催。ポップやカードを魔法のように筆ペン1本で描くふでこさん。カノハタの値札もその場であつという間に作ってくれました。初開催は立川のハルミエールさん。生花でデコレーションされたケーキは、見るだけでもうっとりします。また、今までカノハタのぶどうだけが参加していた市川真間のデニッシュパン「グランパ」さんのマルシェにも参加しました。各人最新情報は下記インスタグラムをチェックしてください！



パティスリーハルミエール



ゆるふでこ



ラトリエドシュクル



ハルミエールさんで開催告知の撮影



いつものラトリエドシュクルさん(小岩)



本「ゆるふで」も出版しているふでこさん



初めての体験...

昨年四月から、短期滞在できる寮を整備しました。もともと農繁期の作業を地元の人だけで探すのは難しく、寮があれば求人対象が全国に広がると気づいたからです。そんな中、農業体験をしたいけれど、日帰りでは...と考える方も多いと感じ、昨シーズンは体験の方を中心に運用しました。農業インターンシップ制度を通じて、学生や社会人の方数名が体験しました。ほとんどみなさん初めて農業を体験する方でしたが、受け入れる私たちも初めてで、始めはまごまごしました。でも異業種や異世代の話も聞けたりして、世の中の流れを垣間見ることができた気がします。



今年は農繁期を通して滞在できる方に使用してもらおうと思っておりますが、短期体験もできるように、できる限り工夫をしてみたいと思います。

今年も元気にがんばります！

昨夏のカノハタ通信vol.13以降カノハタ家族の私生活は、といいますと収穫の合間を縫って夏休みに海へ。長男(中2)は吹奏楽のコンクールで金賞をいただき上位大会へ。他にも部活動以外で河口湖音楽祭に参加し大人やプロの方々や演奏する機会を得たりと、大変充実した日々を過ごしています。吹奏楽が好きすぎて、毎年秋に行く三世代での旅行に、部活を休みたくないからと行かなかったのには、ちょっと寂しさを感じつつ成長していると思えました。次男(小4)は相変わらず天真爛漫、私たちに元気を与えてくれます。お勉強の方が心配ですが、毎日腕立て伏せをして体を鍛えています。



晩秋の日光で滝見物



～夏のこま 弟：顔はめ看板、兄：音楽祭参加～



師匠の畑でお友達と栗拾い